

未来戦略機構第六部門支援経費研究概要（平成28年度）

微生物病研究所・三木裕明

研究タイトル：PRL3-CNNM4 分子間相互作用を阻害する新規抗がん剤の開発

PRL3 は大腸がんの転移巣などで高発現し、がんの悪性を引き起こす。私たちは PRL3 が Mg^{2+} トランスポーター CNNM4 に結合して機能することを明らかにしてきた。この PRL3-CNNM4 の分子間相互作用を阻害する化合物は抗がん剤として機能する可能性がある。そのような物質の探索を目的として、PRL3-CNNM4 の結合をハイスループットで検出できる実験系や、PRL3 の機能を培養細胞で簡便に検出できる実験系の開発を進めている。